〔令義解厩牧八〕凡諸道置驛馬、大路謂山陽道、其太宰以去、卽爲小路也、廿匹、中路謂東海東山道、其自外皆爲小路也、十匹、小路五匹、

〔令集解田十二〕釋云、大路使屢經過之處、以使稀少爲中少耳、朱云、定大中少路者、可依式者、

〔續日本紀二十九稱德〕神護景雲二年三月乙巳朔、先是東海道巡察使式部大輔從五位下紀朝臣廣名等言、○中略下總國井上浮島河曲三驛、武藏國乘瀦豐島二驛、承山海兩路使命繁多、乞准中路置馬十匹、奉勅依奏、

〔日本後紀十七平城〕大同三年六月壬申、省因幡國八上郡莫男驛、智頭郡道俣驛、馬各二匹、以不緣大路、乘用希也、

〔倭名類聚抄十道路〕徑路　唐韻云、徑音敬、與逕同、和名多々知、徑逕也、字或通見下、步道也、四聲字苑云、徑道徑音古定反容牛馬道、一云步道也、

〔倭訓栞前編多十四〕たゞち　新撰字鏡、倭名鈔に、徑ノ字をよめり、步道也と注す、万葉集に直道と書、直ノ字もよめり、歌に夢のたゞちなどもよめる也、今すぐみちといへるが如し、

〔常陸國風土記〕常陸國○中略所以然號者、往來道路不隔江海之津濟、郡鄉境堺、相續山河之峯谷、取近通之義、以爲名稱焉、

〔萬葉集十一古今相聞往來歌〕正述心緒

月夜好三、妹二相跡、直道柄、吾者來雖、夜其深去來、

〔古今和歌集十二戀〕寛平の御時、きさいの宮の歌合の歌、　藤原としゆきの朝臣

戀わびて打ぬるなかに行がよふ夢のたゞちはうつゝならなむ

〔倭名類聚抄十道路〕巷　唐韻云、巷胡絳反、知名○知末太、里中道也、

〔伊呂波字類抄知地儀〕衢チマタ　街　衝　巷　術　岐路

〔書言字考節用集一乾坤〕阡チマタ漢書作仟、風俗通路南北曰阡、　陌同漢書作佰、風俗通東西曰陌、爾雅、道路二達曰岐旁、　街同說文、四通也、　衢

徑路

街